

# スポーツ施設の ストック適正化ガイドライン に基づく評価について

# 1. スtockガイドラインに基づく各施設の評価

## 評価にあたって

スポーツ施設について、伊丹市公共施設再配置基本計画の方針を踏まえつつ、国が示す「スポーツ施設のStock適正化ガイドライン」を参考に、各施設の現況や環境を評価したうえで、個別施設の基本方針を定め、個別施設の整備を進めていくことを目的としています。

### 対象となるスポーツ施設

#### 【施設の現状情報の収集・整理】

- 「伊丹市体育施設条例」に位置付ける市内のスポーツ施設を対象とし、個別施設の基本方針については、各施設の種類・機能ごとに定めます。

### 対象期間

- 本基本方針の期間は、令和7年度（2025年度）から令和14年度（2032年度）までの8年間とします。
- なお、中間年度である令和10年度（2028年度）に見直しを実施します。

番号	体育施設条例に位置付けるスポーツ施設	種類・機能
1	伊丹スポーツセンター	体育館
2	伊丹スポーツセンター	クラブハウス
3	伊丹スポーツセンター	室内プール
4	伊丹スポーツセンター	陸上競技場
5	伊丹スポーツセンター	野球場
6	伊丹スポーツセンター	テニスコート
7	緑ヶ丘体育館	体育館
8	緑ヶ丘体育館	武道館
9	緑ヶ丘体育館	屋外プール
10	稲野公園運動施設	クラブハウス・グラウンド・自転車
11	ローラスケート場	クラブハウス・スケートリンク
12	荒牧運動広場	テニスコート・バスケットコート
13	猪名川第1・第2運動広場	グラウンド
14	猪名川第3・第4運動広場	グラウンド
15	市立野球場	グラウンド
16	古池運動広場	グラウンド
17	神津第1・2運動広場	グラウンド
18	堀池運動広場	グラウンド
19	猪名川テニスコート	テニスコート
20	市立相撲場	相撲場
21	瑞ヶ池トリムランニングコース	ランニングコース
22	昆陽池トリムランニングコース	ランニングコース

上記を踏まえ、「スポーツ施設のStock適正化ガイドライン」を参考に、施設分類別に、短期・中期・長期に区分した時間軸を設定し、施設毎の検討の優先順位付けを示した、基本方針を定め、施設整備を推進していきます。

## 2. スポーツ施設のストック適正化ガイドラインに基づく評価基準について

参考資料

### スポーツ施設の評価基準について

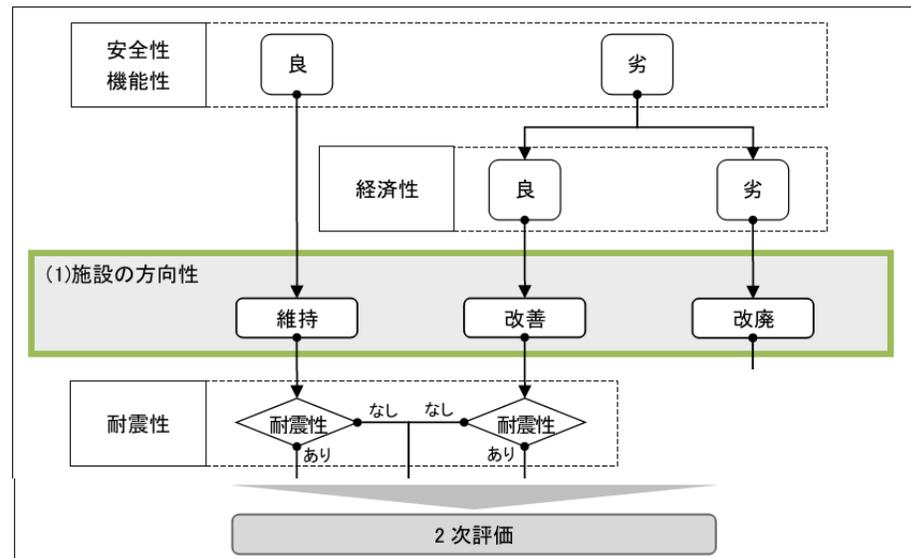
#### スポーツ施設の現況評価【1次評価】

スポーツ庁の「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」に基づき、個々のスポーツ施設について、安心・安全・快適な利用に必要な施設の性能を把握するため、基礎情報を収集・整理し、その情報に基づき、安全性・機能性・経済性による評価をし、個別施設の方向性及び整備手法を検討していきます。

#### 【施設の現状情報の収集・整理】

- 施設の現状を明らかにするために、「安全性・機能性」「経済性」「耐震性」の分析に資する基礎情報の収集・整理を実施。
  - ①安全性・機能性  
経過年数、躯体の劣化状況、法令適合性、安全対策 等
  - ②経済性  
更新・修繕費、維持管理費、施設使用料収入 等
  - ③耐震性  
適応する耐震基準、耐震診断、耐震改修 等
- 施設の現状情報に基づく個別施設の方向性に関する検討
  - ・施設の現状を評価し、その評価結果をもとに個々のスポーツ施設の「方向性」を検討。
  - ・個別施設について、スポーツ施設の安心・安全な利用のために必要となる最小限の基礎情報に基づき、方向性等を簡易的に検討。
- また、経過年数、躯体の劣化状況等を踏まえ、個別計画検討の優先順位付けも併せて行います。

<個別施設の方向性の検討（1次評価）のフロー>



出典：「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（平成31年4月一部改訂）スポーツ庁P26」

1次評価においては、安全性・機能性・経済性の評価を行ったうえで、施設の方向性及び整備手法を評価していきます。施設の方向性については、「維持」「改善」「改廃」に分類します。

### 3. スポーツ施設のストック適正化ガイドラインによる評価について

#### スポーツ施設の現況評価【1次評価】について

##### 現況評価【安全性・機能性】

##### 【安全性・機能性に関する状況把握のポイント】

- 安全性については、竣工年からの経過年数や躯体の劣化状況等により、劣化状況が利用者等の安全に与える影響を把握した。
- 機能性については、施設機能（性能）を維持するために必要となる空間性能、室内環境性能等の劣化や運用に関連する問題等の状況を把握した。
- 屋外スポーツ施設については、「公園施設長寿命化計画策定指針」（平成24年（2012年）4月国土交通省都市局公園緑地・景観課）に準じ、各施設の健全度に関する基礎情報を把握した。
- 法令への適合状況については、建築基準法、消防法等に係る法定点検結果からは是正報告の有無及び是正実施の有無を把握した。
- スポーツ施設の安全対策については、スポーツの場を安全な状態で提供していくため、スポーツ施設に係る対策事例等を参考としながら、必要となる安全対策の実施状況を把握した。

項目	整理・収集項目
安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工年からの経過年数</li> <li>・躯体の劣化状況（剥離、ひび割れ）</li> <li>・屋根、外壁材の劣化状況（剥離、ひび割れ）等</li> </ul>
機能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内装の劣化状況（天井、壁、床、建具等）</li> <li>・設備機器、配管等の劣化状況</li> <li>・付帯設備（トイレ、シャワー、更衣室等）の整備状況等</li> </ul>
屋外スポーツ施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装の健全度</li> <li>・付帯施設の健全度（防球ネット、フェンス）等</li> </ul>
法令への適合状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法：定期点検報告等</li> <li>・消防法：消防用設備等点検の報告等</li> <li>・電気事業法：定期点検報告</li> </ul>
スポーツ施設の安全対策	(例) ・屋内フロアー、屋外コート of 状況等 ・AED等の設置状況等 ・水泳プールの安全管理 等

##### 【安全性・機能性の評価】

- 現地調査により把握した劣化状況を基に、「基礎情報」において項目分類された「安全性」「機能性」「屋外スポーツ施設の状況」ごとに「A・B・C・D」の4段階評価を行いました。
- 上記の「劣化状況の調査結果」及び「項目ごとの評価」を基に、「良」「劣」の評価を行いました。
- 「法令への適合状況」「スポーツ施設の安全対策」については、その内容の確認を行った。

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に健全である。</li> <li>・緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理するもの。</li> </ul>	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。</li> <li>・緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。</li> </ul>	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に劣化が進行している。</li> <li>・現時点では重大な事故につながるが、利用し続けるためには部分的な補修又は更新が必要なもの。</li> </ul>	C
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に顕著な劣化である。</li> <li>・重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止又は緊急な補修若しくは更新が必要とされるもの。</li> </ul>	D

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に劣化、不具合等の事象が確認されない。</li> <li>・部分的な劣化、不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い。（日常的な保守管理及び経過観察により対応）</li> </ul>	良
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な劣化、不具合等又は著しい劣化、不具合等の事象が確認され、全体的な補修若しくは改修が必要である。</li> <li>・劣化、不具合等の事象により、重大な事故、施設の利用制限又は緊急に補修若しくは改修が必要である。</li> </ul>	劣

### 3. スポーツ施設のストック適正化ガイドラインによる評価について

#### 【安全性・機能性】の評価結果について

施設番号	施設名称	屋内/屋外	種類・機能	(1)安全性・機能性 ※2					参考	
				安全性	機能性	屋外運動施設	評価	優先度	法令適合性	安全対策
1	伊丹スポーツセンター	屋内	体育館	B	B	—	良	短	○	○
2	伊丹スポーツセンター	屋内	クラブハウス	C	B	—	良	短	○	○
3	伊丹スポーツセンター	屋内	室内プール	B	C	—	良	短	○	○
4	伊丹スポーツセンター	屋内/屋外	陸上競技場	C	B	C	良	短	○	○
5	伊丹スポーツセンター	屋内/屋外	野球場	B	B	C	良	短	○	○
6	伊丹スポーツセンター	屋内/屋外	テニスコート	B	B	C	良	短	○	○
7	緑ヶ丘体育館	屋内	体育館	B	B	—	良	中	○	○
8	緑ヶ丘体育館	屋内	武道館	B	B	—	良	中	○	○
9	緑ヶ丘体育館	屋内/屋外	屋外プール	B	B	—	良	中	○	○
10	稲野公園運動施設	屋内/屋外	クラブハウス グラウンド・自転車	B	C	C	良	短	○	○
11	ローラースケート場	屋内/屋外	クラブハウス スケートリンク	B	B	C	良	短	—	○
12	荒牧運動広場	屋外	テニスコート バスケットコート	—	—	D	劣	短	—	○
13	猪名川第1・第2	屋外	グラウンド ※1	B	—	B	良	中	—	○
14	猪名川第3・第4	屋外	グラウンド	B	—	B	良	中	—	○
15	市立野球場	屋外	グラウンド	B	—	B	良	中	—	○
16	古池運動広場	屋外	グラウンド	B	—	B	良	中	—	○
17	神津第1・第2	屋外	グラウンド	—	—	B	良	中	—	○
18	堀池運動広場	屋外	グラウンド	—	—	C	良	中	—	○
19	猪名川テニスコート	屋外	テニスコート (クレートコート)	—	—	B	良	中	—	○
20	市立相撲場	屋外	相撲場	B	D	B	劣	短	—	○
21	瑞ヶ池トリムランニングコース	屋外	ランニングコース	—	—	B	良	中	—	○
22	昆陽池トリムランニングコース	屋外	ランニングコース	—	—	B	良	中	—	○

#### 現況評価【安全性・機能性】

##### 【荒牧運動広場（中国自動車道荒牧交差点東側高架下）】

- 荒牧運動広場については、昭和56年に整備され、ネクスコ西日本から土地を借出し、テニスコート及びバスケットコートとして運用してきたが、高架道路の補強工事に伴い、天井が1m程度下がったことから、一般的なテニスコートとしての利用が難しくなっているため「劣」となった。

##### 【市立相撲場（猪名野神社境内）】

- 令和7年度に予定されているあじさいセンターの解体に伴い、併設するシャワー施設が廃止されることとなり、施設利用に制限がかかることから「劣」となった。

#### — 評価にあたっての補足 —

- ※1：機能性の評価については、競技エリア及び施設職員が常駐している建築物を評価対象としていることから、用途がトイレ・倉庫である「猪名川第3・第4」、「市立野球場」、「古池運動広場」については安全性のみを評価対象とした。
- ※2：優先度については、施設の改修年度からの年次、目視による老朽状況の確認等を基に、短期・中期に振り分けた。
- ※3：法令適合性については、「建築基準法」「消防法」「電気事業法」に基づく定期点検結果を基に確認していることから、対象となっていない施設については「—」とした。

安全性・機能性の評価を行った結果、「劣」と判定された施設は、「荒牧運動広場」「市立相撲場」のみであり、その他20施設は、「良」と判定されました。

### 3. スポーツ施設のストック適正化ガイドラインによる評価について

#### 【安全性・機能性】評価で「劣」となったものについて

##### 現況評価【経済性・耐震性】

#### 【経済性に関する状況把握のポイント】

- 「経済性」の分析のための基礎情報として、コスト（更新・修繕費、運営維持管理費、光熱水費・通信費）及び使用料等の収入に関する情報の収集・整理を行いました。
- 運営維持管理費、光熱水費・通信費、使用料等の収入に関する情報は、施設の所管部局で管理しているデータを整理した。

#### 【経済性の評価】

- 「安全性・機能性」の評価において「劣」と評価された施設について、「経済性」に関する評価を行いました。
  - 「経済性」の評価については、「改善コスト（※）」「維持管理コスト」「利用料金収入」等を総合的に評価し、施設の方向性について、「改善」又は「改廃」に分類しました。
- (※) 改善コストについては、施設の現況評価が低い施設で、原状回復費用が必要なものについてのみ評価することとした。

#### 【耐震性に関する状況把握のポイント】

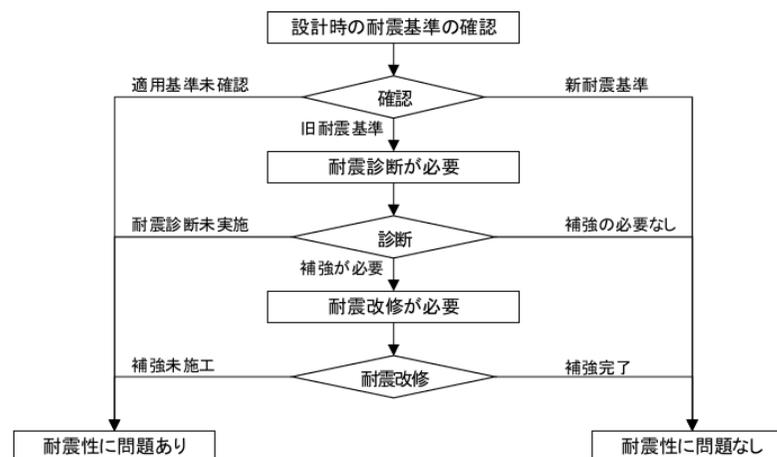
- 施設の方向性が「維持」又は「改善」となった施設（建築物）は、「耐震性」の確認を行いました。

#### 【耐震性の評価】

- 収集した基本情報をもとに、評価を行った。
- 旧耐震基準（昭和56年（1981年）以前）で設計された建物は耐震診断の実施が必要であるため、その実施の有無及び耐震診断結果を確認した。
- 耐震診断を実施している建築物のうち、「耐震改修の必要性があり」と診断され、耐震改修が完了している場合「耐震性に問題なし」とした。

項目	整理・収集項目
更新・修繕費	・原状回復に必要なコスト、改修や建て替えに係るコスト
運営維持管理費	・各種委託料（清掃、警備等）、指定管理料
光熱水費・通信費	・電気、ガス、水道、下水道、通信
収入	・スポーツ施設の使用料

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善コスト、維持管理コストの発生が標準よりも少ない。</li> <li>・収入が多く、今後も施設利用が見込める。</li> <li>・維持管理コストが多く、収入も少ない施設であるが、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がある。</li> </ul>	良
<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善コスト及び維持管理コストが多く、収入も標準よりも少ない施設で、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がない。</li> <li>・相対的、若しくは目標値に対して、著しく状況が悪い。</li> </ul>	劣



### 3. スポーツ施設のストック適正化ガイドラインによる評価について

#### 【経済性・耐震性】の評価結果について

##### 現況評価【経済性】

施設番号	施設名称	屋内/屋外	種類・機能	(2)経済性			
				コスト		収入	評価
				施設整備	委託料 光熱水費		
12	荒牧運動広場	屋外	テニスコート バスケットコート	要	不要	なし	劣
20	市立相撲場	屋外	相撲場	要	要	なし	劣

##### 【経済性の確認】

- 荒牧運動広場及び市立相撲場のいずれの施設についても、原状の施設機能に回復するために、相当の費用がかかる可能性があること等から、施設整備コストを「要」とした。
- あわせて、いずれの施設においても多額の管理運営コストはかかっていないが、無料の施設であり、収入はないことから、評価「劣」となった。

##### 現況評価【耐震性】

施設番号	施設名称	屋内/屋外	種類・機能	(3)耐震性				
				構造階数	設置年	耐震基準	耐震診断	耐震改修
1	伊丹スポーツセンター	屋内	体育館	RC 3	1972	旧	済	済
2	伊丹スポーツセンター	屋内	クラブハウス	S 2	1972	旧	未	未
3	伊丹スポーツセンター	屋内	室内プール	RC 1	1972	旧	未	未
4	伊丹スポーツセンター	屋内/屋外	陸上競技場	RC 1	1972	旧	未	未
5	伊丹スポーツセンター	屋内/屋外	野球場	RC 1	1971	旧	未	未
6	伊丹スポーツセンター	屋内/屋外	テニスコート	CB 1	1972	旧	未	未
7	緑ヶ丘体育館	屋内	体育館	RC 3	1982	新	—	—
8	緑ヶ丘体育館	屋内	武道館	RC 3	1982	新	—	—
9	緑ヶ丘体育館	屋内/屋外	屋外プール	RC 3	1965	新	—	—
10	稲野公園運動施設	屋内/屋外	クラブハウス グラウンド・自転車	S 1	1982	新	—	—
11	ローラースケート場	屋内/屋外	クラブハウス スケートリンク	S 1	1982	新	—	—

##### 【耐震性の確認】

- 今回の判定においては、競技エリア及び施設職員が常駐している建築物の確認を行いました。
- 確認した11施設のうち、  
新耐震基準施設：5施設  
旧耐震基準で耐震改修済施設：1施設  
旧耐震基準で耐震診断未確認施設：5施設  
となっています。

経済性については、いずれも機能の原状回復費用を要する施設であることから「劣」評価となった。  
耐震性については、5施設が耐震性未確認施設となっている。

### 3. スポーツ施設のストック適正化ガイドラインによる評価について

#### 1次評価結果について

施設番号	施設名称	屋内/屋外	種類・機能	短期 R7~R10	中期	長期	1次評価	施設番号	施設名称	屋内/屋外	種類・機能	短期 R7~R10	中期	長期	1次評価
1	伊丹スポーツセンター	屋内	体育館	○	○	○	維持	12	荒牧運動広場	屋外	テニスコート バスケットコート	○			改廃
2	伊丹スポーツセンター	屋内	クラブハウス	○	○	○	維持	13	猪名川第1・第2	屋外	グラウンド		○		維持
3	伊丹スポーツセンター	屋内	室内プール	○	○	○	維持	14	猪名川第3・第4	屋外	グラウンド		○		維持
4	伊丹スポーツセンター	屋内/屋外	陸上競技場	○	○	○	維持	15	市立野球場	屋外	グラウンド		○		維持
5	伊丹スポーツセンター	屋内/屋外	野球場	○	○	○	維持	16	古池運動広場	屋外	グラウンド		○		維持
6	伊丹スポーツセンター	屋内/屋外	テニスコート	○	○	○	維持	17	神津第1・第2	屋外	グラウンド		○		維持
7	緑ヶ丘体育館	屋内	体育館		○	○	維持	18	堀池運動広場	屋外	グラウンド		○		維持
8	緑ヶ丘体育館	屋内	武道館		○	○	維持	19	猪名川テニスコート	屋外	テニスコート (クレーコート)		○		維持
9	緑ヶ丘体育館	屋内/屋外	屋外プール		○	○	維持	20	市立相撲場	屋外	相撲場	○			改廃
10	稲野公園運動施設	屋内/屋外	クラブハウス グラウンド・自転車	○	○		維持	21	瑞ヶ池トリムランニングコース	屋外	ランニングコース		○		維持
11	ローラースケート場	屋内/屋外	クラブハウス スケートリンク	○	○		維持	22	昆陽池トリムランニングコース	屋外	ランニングコース		○		維持

1次評価に基づく施設の方向性は、20施設で「維持」となり、2施設で「改廃」となりました。  
また、施設の老朽度等を基に、検討時期【短期・中期・長期】の優先順位をまとめました。

# 4. スポーツ施設のストック適正化ガイドラインに基づく評価基準について

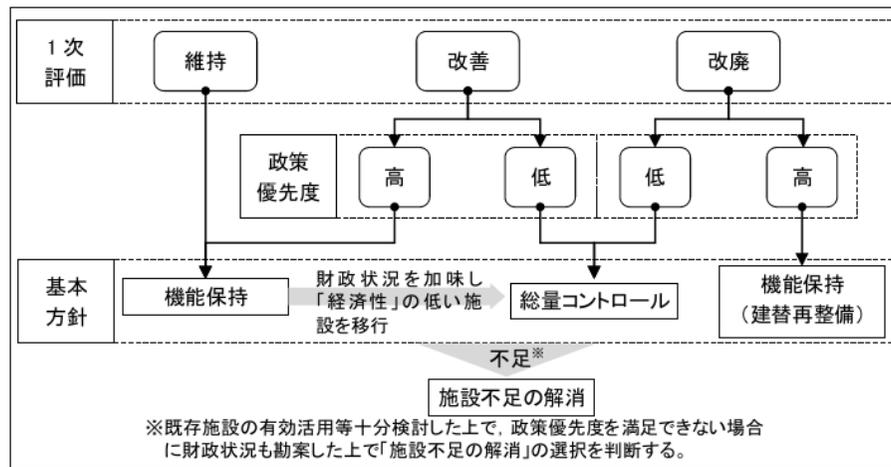
## スポーツ施設の環境評価【2次評価】

1次評価で分類された結果により、スポーツ施設の環境に関する情報を収集・整理しスポーツ施設の環境を評価し、その結果を基に施設ごとの基本方針を決定します。

<スポーツ施設の基本方針の検討（2次評価）のフロー>

### 【施設の基本方針の検討】

- 施設の方向性（1次評価）に、施設の環境に関する情報や政策優先度を加えて、個別施設ごとに基本方針（2次評価）を検討します。
- 政策優先度については、
  - 「利用状況（利用人数、稼働率）」
  - 「ニーズ（利用者・利用団体等のニーズ・満足度等）」
  - 「競技種別（特殊性・希少性）」
  - 「整備目的」
  - 「防災（地域防災計画上の位置づけ）」
 など様々な観点から施設ごとに検討します。
- また、基本方針の検討にあたっては、伊丹市公共施設再配置基本計画の再配置方針の考え方も踏まえて検討します。



出典：「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（平成31年4月一部改訂）スポーツ庁P39」

基本方針	内容
(スポーツ施設としての)機能保持	現在の施設の機能を保持する。老朽化やそれに伴う維持管理費の増加に対応できるよう、計画的な対応方針を施設ごとに検討する。老朽化が激しいものについては建替再整備の時期や方法について検討する。
総量コントロール	将来的に維持管理し続けることができない施設について、廃止や転用の時期、方法について検討する。
施設不足の解消	スポーツ施設が不足している状態である場合、利用可能なスポーツ施設を増やすことを目指す。

2次評価については、1次評価結果を踏まえ、政策優先度の評価を行い、「機能保持」又は「総量コントロール」に基本方針を分類し、短期的・中期的・長期的に取り組むものに区分します。

その後、基本方針に基づき適用手法を検討し、個別施設計画を策定していきます。

## 5. スポーツ施設のストック適正化ガイドラインによる評価について

### スポーツ施設的环境評価【2次評価】について

#### 政策優先度検討

##### 【政策優先度検討のポイント】

- 基本方針の検討にあたって、「政策優先度」の評価を行いました。政策優先度については、「利用状況」や「ニーズ」により定量的に評価することも可能ですが、災害時の位置づけなども考慮し、総合的に検討を行うこととしました。

#### 基本方針の検討

##### 【基本方針検討のポイント】

##### 【スポーツ施設ストック適正化に関するガイドラインに基づいた検討】

- ・1次評価が「維持」となった施設は、基本方針を「機能保持」とする。
- ・1次評価が「改善」若しくは「改廃」となった施設は、政策優先度の評価を行う。
- ・1次評価が「改廃」で、政策優先度が「高」の施設については、施設の状態が悪く、もしくは原状回復できない等により相当の費用を要する可能性があるため、基本方針を「機能保持（建替再整備）」とする。
- ・政策優先度が「低」の施設については、基本方針を「総量コントロール」とし、施設の削減、転用等の検討を行う施設とする。

##### 【施設における機能別の方向性の検討】

- ・上記ガイドラインによる評価に加え、ストック適正化の基本方針を参考に、本市のスポーツ施設を取り巻く環境を考慮し、以下の視点から評価を行いました。
- ・ガイドラインによる基本方針の結果が「機能保持」であって、短期に対応が必要な施設については、「経済性」に加え、施設の設置目的、利用状況（利用人数、稼働率、利用団体の状況）、複数種目の実施状況、防災施設としての機能、伊丹市公共施設再配置基本計画の再配置方針等を加味し、上記ガイドラインによる基本方針の結果が「機能保持」であっても「総量コントロール」となる可能性がある施設については、「総量コントロール」に分類する。

評価基準（例）	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用が多い。</li> <li>・現在の施設利用者の満足度が高い。</li> <li>・運営や施設機能の向上により、大幅に利用状況が改善される見込みがある。</li> <li>・障害者スポーツが盛んに行われている。</li> <li>・圏域にそのスポーツの実施場所がなく、希少性が高い。</li> <li>・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われている。</li> <li>・地域防災計画において、災害拠点や避難施設としての指定されており、代替できる施設がない。</li> </ul>	→高
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用が少ない。</li> <li>・現在の施設利用者の満足度が低い。</li> <li>・特定の団体が利用し、実利用者が少ない。</li> <li>・周辺の人口動態等を踏まえると、運営や施設機能の向上を図っても利用状況の改善の見込みがない。</li> <li>・整備目的や施設内容と利用実態が整合していない。</li> <li>・学校開放等の既存施設の活用により、現在の利用を代替できる。</li> <li>・地域防災計画において、災害拠点や避難施設としての指定されていない。若しくは、指定されているが、近隣に代替できる施設がある。</li> </ul>	→低

## 5. スポーツ施設のストック適正化ガイドラインによる評価について

### スポーツ施設の環境評価【2次評価】結果について

番号	施設名称		種類・機能	機能保持 (基本方針)	総量コントロール (基本方針)	短期 R7～R10	中期 R11～R20	長期 R21～
1	伊丹スポーツセンター	屋内	体育館	○		○	○	○
2	伊丹スポーツセンター	屋内	クラブハウス	○	○	○	○	○
3	伊丹スポーツセンター	屋内	室内プール	○	○	○	○	○
4	伊丹スポーツセンター	屋内/ 屋外	陸上競技場	○		○	○	○
5	伊丹スポーツセンター	屋内/ 屋外	野球場	○		○	○	○
6	伊丹スポーツセンター	屋内/ 屋外	テニスコート	○		○	○	○
7	緑ヶ丘体育館	屋内	体育館	○			○	○
8	緑ヶ丘体育館	屋内	武道館	○				○
9	緑ヶ丘体育館	屋内/ 屋外	屋外プール	○			○	○
10	稲野公園運動施設	屋内/ 屋外	クラブハウス グラウンド・自転車	○	○	○	○	
11	ローラースケート場	屋内/ 屋外	クラブハウス スケートリンク	○	○	○	○	
12	荒牧運動広場	屋外	テニスコート バスケットコート		○	○		
13	猪名川第1・第2	屋外	グラウンド	○			○	
14	猪名川第3・第4	屋外	グラウンド	○			○	
15	市立野球場	屋外	グラウンド	○			○	
16	古池運動広場	屋外	グラウンド	○			○	
17	神津第1・第2	屋外	グラウンド	○			○	
18	堀池運動広場	屋外	グラウンド	○			○	
19	猪名川テニスコート	屋外	テニスコート (クレーコート)	○			○	
20	市立相撲場	屋外	相撲場	○		○		
21	瑞ヶ池トリムランニングコース	屋外	ランニングコース	○			○	
22	昆陽池トリムランニングコース	屋外	ランニングコース	○			○	

### 政策優先度の評価の主な視点

#### 【荒牧運動広場】

- 学校等の既存施設の活用による代替性があること等を勘案しました。

#### 【市立相撲場】

- 同地でのシャワー設置等が難しく、代替可能性が低いこと等を勘案しました。

### 総量コントロールの可能性がある施設の評価の主な視点

#### 【クラブハウス（伊丹スポーツセンター）】

- 利用者数が10,000人程度で推移しており、特に2階の稼働率が30%未満となっている。
- 1階利用者は多目的フロアとの代替利用が可能であり、2階の主な利用用途はスポーツ団体の会議であることから、他施設での代替可能性が高い。

#### 【室内プール（伊丹スポーツセンター）】

- 老朽度が高く改修の優先度が高い施設。
- 社会状況に応じた改修機能の内容を検討する必要がある。

#### 【稲野公園運動施設】

- 伊丹市公共施設再配置基本計画においてあり方検討対象施設となっている。
- 利用者は増加傾向であるが市内利用者が38%程度となっている。
- 地域と連携したイベント等が開催されている。
- 維持管理コストが1,000万円程度要している。

#### 【ローラースケート場】

- 伊丹市公共施設再配置基本計画においてあり方検討対象施設となっている。
- 利用者が減少傾向であり、市内利用者が27%程度となっている。
- 複数種目の利用ができない。
- 利用者数の減少に伴い、今後指定管理費用の増加が見込まれる。

基本方針（2次評価結果）に基づき、「機能保持」となったものは、「長寿命化」「機能改修」を基本とし、次年度以降整備を進めていきます。「総量コントロール」となったものは、個別施設のあり方を検討していきます。

また、「機能保持」「総量コントロール」の可能性が残るものについても、経営改善策や個別施設のあり方を検討していきます。

令和7年度～

個別施設計画の検討

